香川大学

できることから
はじめよう！

冬の省エネにご協力ください！

今日の小さな工夫が
明日の大きなエネルギーに

1 暖房時 室温19℃

無理のない範囲で
室内温度を調整しましょう。



暖房温度を2℃下げた場合
建物全体に対する節電効果

約3.4%

2 照明の間引き

可能な範囲で
照明を間引きましょう。



執務室の照明を半分程度
間引きした場合
建物全体に対する節電効果

約7.7%

3 空調機等停止

使用していないエリアの
空調を停止しましょう。



建物全体に対する節電効果

約1.7%

4 OA機器

長時間席を離れるときは、
OA機器の電源を切るか、
スタンバイモードにしましょう。



建物全体に対する節電効果

約3.6%

5 全熱交換器清掃

フィルターの汚れを取り除き、
換気効率と熱交換性能の
向上を図りましょう。





かだぴょん

ご注意

- 記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する目安です。
- 空調についての節電効果は電気式空調を想定しています。
- 一定の条件の下での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- 節電を意識するあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないよう、ご注意ください。